

平成26年2月13日

平成25年度第2回小児がん部会提供資料

大阪府における 小児がんの実態と受療動向について

大阪府小児がん連携ワーキンググループ
大阪府立成人病センターがん予防情報センター

資料の構成

- 【1】 第二期大阪府がん対策推進計画(小児がん対策)と実施体制について
- 【2】 小児(15歳未満)のがん種毎の実態把握と今後の方向性について
- 【3】 AYA世代(15歳～29歳)のがん種毎の実態把握と今後の方向性について
- 【4】 情報把握と相談支援の充実について

【1】

**第二期大阪府がん対策推進計画
(小児がん対策)と実施体制について**

第二期大阪府がん対策推進計画 ～小児がん対策の充実～

【1】-1

【1】小児がんの実態把握の促進

(1) がん登録事業における
小児がん情報把握の充実

(2) がん拠点病院における
小児がん受療動向の把握

(3) AYA世代の受療動向の
把握とがん医療水準の向上

(4) 患者団体等、関係者との
意見交換の実施

【2】小児がん医療提供体制の推進

(1) 小児がん医療水準の向上

(2) 療養環境（アメニティ）の向上

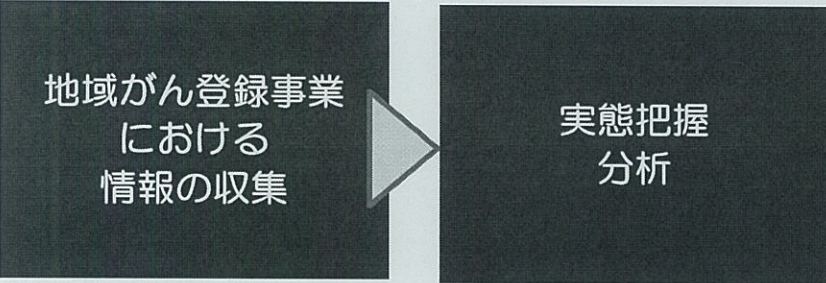
【3】相談支援・情報提供の充実

(1) 小児がん拠点病院及び都道府県拠点病院等における
情報提供の充実

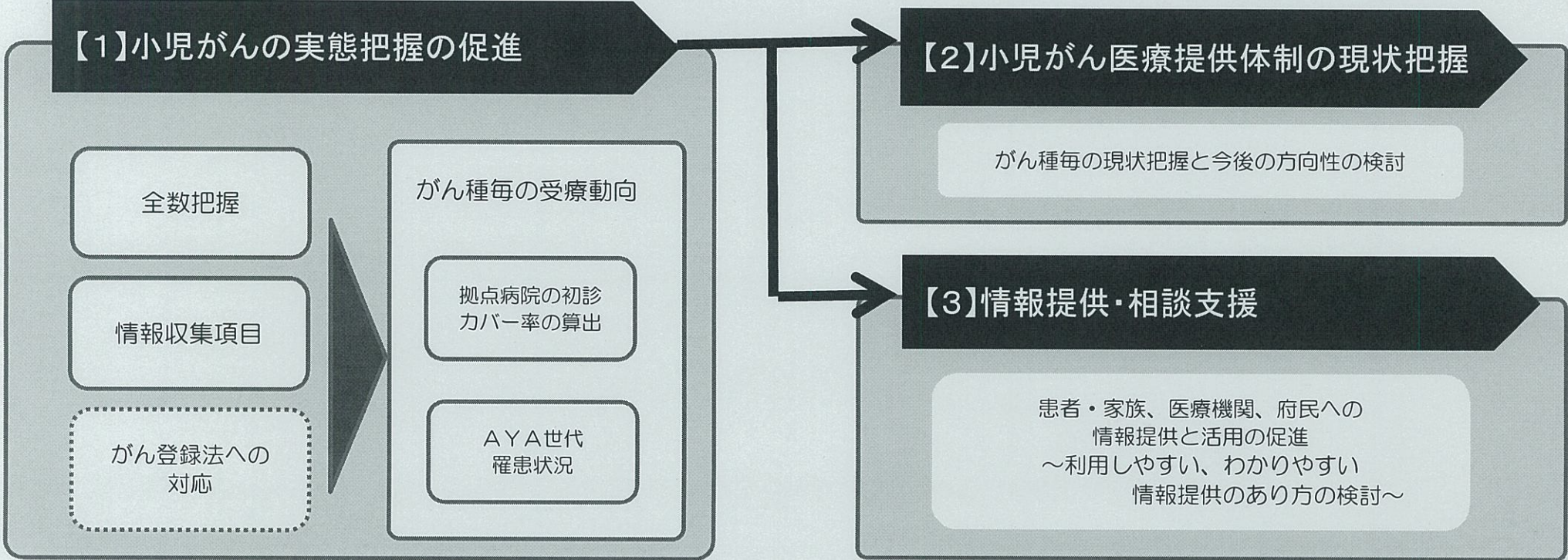
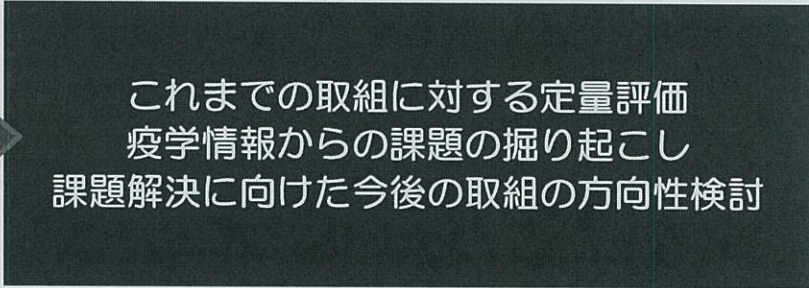
(2) がん拠点病院における小児がん医療提供機能の公表と
相談支援機能の充実

実態把握による現状評価と施策への展開(取組フレーム)

第1フェーズ



第2フェーズ～



小児がん対策の実施体制

・委員会、部会等における
審議結果等の提案、
情報提供

大阪府がん診療連携協議会

事務局：都道府県がん診療連携拠点病院(大阪府立成人病センター)
目的：がん医療の向上を図るため、がん診療連携のあり方、
拠点病院の役割について審議
構成：国指定、府指定の拠点病院の病院管理者等

- がん診療連携拠点病院
部会
- 地域連携
クリティカル
パス部会
- がん診療情報提供の
あり方検討部会
- 小児・AYA部会
- 緩和ケア部会
- がん登録部会
- 相談支援センター
部会

大阪府小児がん連携ワーキンググループ

小児がん拠点病院

母子総C
(国指定)

市総合C
(国指定)

小児血液・がん学会専門医研修施設

阪大病院
(学会認定)

市大病院
(学会認定)

大阪赤十字病院
(学会認定)

成人病C
がん予防情報C

大阪医大病院
(学会認定)

関医大病院
(学会認定)

近大病院
(学会認定)

北野病院
(学会認定)

大阪医療C
(学会認定)

大阪府がん対策推進委員会

事務局：府健康づくり課
目的：がん対策の推進に関する基本的かつ総合的な施策及び重要事項を審議
構成：医療関係者、学識経験者、患者団体など

- がん診療拠点病院
部会
- 緩和ケア推進部会
- 小児がん部会
- がん登録等部会
- 患者支援検討部会
- 肝炎肝がん対策部会
- がん検診・診療部会

・協議会における取組状況の情報提供
・企画作りのための意見提案
・委員会、部会等における審議事項の
実現可能性等についての検討

【2】

**小児(15歳未満)のがん種毎の実態把握と
今後の方向性について**

(1) がん登録事業における小児がん患者の受療動向

大阪府における小児がんの受療状況まとめ

(2004-2008年初診患者数*5 / 2004-2008年大阪府の罹患数)

罹患数	白血病*1		悪性リンパ腫*2		脳腫瘍*3		骨軟部腫瘍*4		神経芽腫		腎芽腫		肝芽腫		網膜芽腫	
	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)
1) 国・府がん拠点病院	269	96.4	62	93.9	119	93.7	73	93.6	73	98.6	15	93.6	10	90.9	20	83.3
① 国拠点*6	190	68.1	47	71.2	88	69.3	57	73.1	52	70.3	9	56.3	4	36.4	5	20.8
② 府拠点*7	79	28.3	15	22.7	31	24.4	16	20.5	21	28.4	6	37.5	6	54.6	15	62.5
2) その他	10	3.6	4	6.1	8	6.3	5	6.4	1	1.4	1	6.3	1	9.1	4	16.7
① 府内	4	1.4	2	3.0	2	1.6	2	2.6	0	0	0	0	0	0	0	0
② 府外	6	2.2	2	3.0	6	4.7	3	3.8	1	1.4	1	6.3	1	9.1	4	16.7
(再掲)小児がん拠点病院*8	113	40.5	26	39.4	46	36.2	31	39.7	50	67.6	10	62.5	6	54.6	19	79.2
(再掲)大阪府小児がんWG*9	227	81.4	53	80.3	94	74.0	65	83.3	71	96.0	14	87.5	9	81.8	19	79.2

(2) がん拠点病院における小児がん患者の受療動向

表1. 受療状況集計表(2004-2008年診断患者) - 小児がん(15歳未満)

医療機関	病名 (大阪府における罹患数)	白血病*1 (274)		悪性リンパ腫*2 (66)		脳腫瘍*3 (127)		骨軟部腫瘍*4 (78)	
		2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 患者数
市北部	田附興風会 北野病院	<3	<3	-	-	4	3	-	-
	大阪市立総合医療センター *	59	44	17	12	36	21	18	10
	遠川キリスト教病院	-	-	<3	<3	<3	<3	-	-
市西部	大阪厚生年金病院	-	-	-	-	<3	<3	-	-
	大阪赤十字病院 *	5	<3	<3	<3	<3	<3	<3	-
	大阪豊栄病院	-	-	-	-	<3	-	-	-
市東部	大阪府立成人病センター *	-	-	<3	-	-	-	4	4
	済生会野江病院	-	-	-	-	-	-	<3	-
	国立 大阪医療センター *	<3	6	<3	<3	5	7	3	5
市南部	大阪府立大学医学部附属病院 *	22	9	3	3	7	4	7	4
	府立急性期・総合医療センター	3	4	<3	<3	<3	<3	<3	-
	市立池田病院	<3	-	-	-	-	-	-	-
	市立豊中病院 *	11	7	-	-	3	3	-	-
豊能	市立吹田市民病院	10	6	-	-	4	<3	-	-
	大阪大学医学部附属病院 *	21	15	8	7	11	8	16	12
	済生会千里病院	-	-	<3	<3	-	-	-	-
三島	大阪医科大学附属病院 *	16	7	<3	<3	6	4	-	-
	豊仁会 高槻病院	<3	-	<3	-	<3	-	-	-
	星ヶ丘厚生年金病院	<3	<3	-	-	<3	-	-	-
北河内	関西医科大学附属枚方病院 *	25	10	8	6	10	4	<3	<3
	松下記念病院	3	3	-	-	-	-	<3	<3
中河内	東大阪市立総合病院 *	<3	-	-	-	5	4	<3	<3
南河内	近畿大学医学部附属病院 *	21	15	5	4	4	4	5	4
	市立堺病院	<3	<3	-	-	<3	<3	-	-
堺市	大阪労災病院 *	3	-	<3	-	-	-	-	-
	ペルランド総合病院	<3	-	<3	<3	-	-	-	-
	市立岸和田市民病院 *	4	<3	<3	<3	-	-	-	-
泉州	市立泉佐野病院	-	-	-	-	3	<3	-	-
	大阪府立母子保健総合医療センター	54	*-	9	*-	10	*-	13	*-
	徳洲会 岸和田徳洲会病院	-	-	-	-	<3	<3	-	-

*1 ICD10 C81-95
 *2 ICD10 C81-85, C96
 *3 ICD10 C70-C72
 *4 ICD10 C40, C41, C47-49
 *5 治療について複数の医療機関から届出のあった場合は、主治療をした医療機関で集計。
 主治療は手術(体腔鏡手術と内視鏡手術を含む) > 放射線治療 > TAE > エタノール注入 > レーザー治療 > 化学療法 > ホルモン療法 > 免疫療法の順番で判定。
 なお、治療とは初回治療を意味し、初回治療情報の届け出がなかった場合は計上されない。
 6 患者数が3未満の場合は"<3"、患者数が0の場合は"- "とした。なお、信頼性が低い場合は"-"とした。

表2. 受療状況集計表(2004-2008年診断患者) - 小児がん(15歳未満)

医療機関	病名 (大阪府における罹患数)	神経芽腫 (74)		腎芽腫 (16)		肝芽腫 (11)		網膜芽腫 (24)	
		2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 患者数
市北部	田附興風会 北野病院	<3	<3	-	-	<3	-	-	-
	大阪市立総合医療センター *	33	14	4	<3	<3	<3	5	3
市東部	大阪赤十字病院 *	<3	-	-	-	-	-	-	-
	大阪府立成人病センター *	-	-	-	-	-	-	-	-
市南部	大阪府立大学医学部附属病院 *	<3	<3	<3	-	<3	<3	-	-
	市立豊中病院 *	-	-	<3	-	<3	-	-	-
豊能	大阪大学医学部附属病院 *	14	11	3	4	-	<3	-	-
	箕面市立病院	<3	-	-	-	-	-	-	-
三島	大阪医科大学附属病院 *	<3	-	-	<3	<3	-	-	-
	豊仁会 高槻病院	<3	-	-	-	-	-	<3	-
北河内	関西医科大学附属枚方病院 *	<3	-	<3	<3	-	-	-	-
	松下記念病院	<3	-	-	-	-	-	-	-
南河内	近畿大学医学部附属病院 *	<3	-	-	-	-	-	-	-
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	17	*-	6	*-	5	*-	14	*-

*1 治療について複数の医療機関から届出のあった場合は、主治療をした医療機関で集計。
 主治療は手術(体腔鏡手術と内視鏡手術を含む) > 放射線治療 > TAE > エタノール注入 > レーザー治療 > 化学療法 > ホルモン療法 > 免疫療法の順番で判定。
 なお、治療とは初回治療を意味し、初回治療情報の届け出がなかった場合は計上されない。
 2 患者数が3未満の場合は"<3"、患者数が0の場合は"- "とした。なお、信頼性が低い場合は"-"とした。

【本資料における用語の考え方】

初診・・・「がん」と最初に診断した医療機関
 診断について複数の医療機関から届出があった場合は、診断日が最古の医療機関で集計

主治療・・・手術(体腔鏡手術と内視鏡手術を含む) > 放射線治療 > TAE > エタノール注入 > レーザー治療 > 化学療法 > ホルモン療法 > 免疫療法 の順番で判定
 なお、治療とは初回治療を意味し、初回治療情報の届け出がなかった場合は計上されない

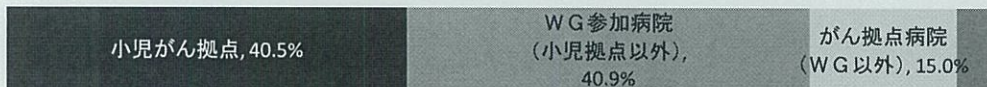
がん種毎における小児(15歳未満)がん受療動向 ①血液がん

～ 2004年-2008年受療動向 ～

血液がん

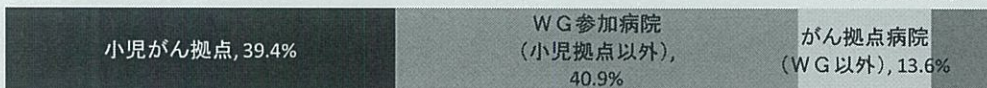
白血病 279名

がん拠点以外, 3.6%



悪性リンパ腫 66名

がん拠点以外, 6.1%



(参考)小児がん連携ワーキンググループ参加病院
(ワーキング参加病院は全てがん拠点病院に指定されている)

大阪市立総合医療センター、大阪府立母子保健総合医療センター
北野病院、大阪赤十字病院、国立病院機構大阪医療センター
大阪市立大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、大阪医科大学附属病院、
関西医科大学附属枚方病院、近畿大学医学部附属病院

拠点病院における初診等動向

表1. 受療状況集計表(2004-2008年診断患者) - 小児がん(15歳未満)

医療圏	病名 (大阪府における罹患者数)	白血病 ^{*1} (274)		悪性リンパ腫 ^{*2} (66)	
		2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数 ^{*5}	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数
市北部	田附興風会 北野病院	<3 ^{*6}	<3	-	-
	大阪市立総合医療センター *	59	44	17	12
	淀川キリスト教病院	-	-	<3	<3
市西部	大阪厚生年金病院	-	-	-	-
	大阪赤十字病院 *	5	<3	<3	<3
市東部	大阪警察病院	-	-	-	-
	大阪府立成人病センター *	-	-	<3	-
	済生会野江病院	-	-	-	-
市南部	国立 大阪医療センター *	<3	6	<3	<3
	大阪市立大学医学部附属病院 *	22	9	3	3
	府立急性期-総合医療センター	3	4	<3	<3
豊能	市立池田病院	<3	-	-	-
	市立豊中病院 *	11	7	-	-
	市立吹田市民病院	10	6	-	-
三島	大阪大学医学部附属病院 *	21	15	8	7
	済生会千里病院	-	-	<3	<3
	大阪医科大学附属病院 *	16	7	<3	<3
北河内	愛仁会 高槻病院	<3	-	<3	-
	星ヶ丘厚生年金病院	<3	<3	-	-
	関西医科大学附属枚方病院 *	25	10	8	6
中河内	松下記念病院	3	3	-	-
	東大阪市立総合病院 *	<3	-	-	-
	近畿大学医学部附属病院 *	21	15	5	4
堺市	市立堺病院	<3	<3	-	-
	大阪労災病院 *	3	-	<3	-
	ベルランド総合病院	<3	-	<3	<3
泉州	市立岸和田市民病院 *	4	<3	<3	<3
	市立泉佐野病院	-	-	-	-
	大阪府立母子保健総合医療センター	54	*7	9	*7
	徳洲会 岸和田徳洲会病院	-	-	-	-

がん種毎における小児(15歳未満)がん受療動向 ②脳腫瘍、骨軟部腫瘍

～ 2004年-2008年受療動向 ～

脳腫瘍

骨軟部腫瘍

脳腫瘍 127名

がん拠点以外, 6.3%

小児がん拠点, 36.2%

WG参加病院
(小児拠点以外),
37.8%

がん拠点病院
(WG以外), 19.7%

骨軟部腫瘍 78名

がん拠点以外, 6.4%

小児がん拠点, 39.7%

WG参加病院
(小児拠点以外),
43.6%

がん拠点病院
(WG以外), 10.3%

(参考)小児がん連携ワーキンググループ参加病院
(ワーキング参加病院は全てがん拠点病院に指定されている)

大阪市立総合医療センター、大阪府立母子保健総合医療センター
北野病院、大阪赤十字病院、国立病院機構大阪医療センター
大阪市立大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、大阪医科大学附属病院、
関西医科大学附属枚方病院、近畿大学医学部附属病院

拠点病院における初診等動向

表1. 受療状況集計表(2004-2008年診断患者) - 小児がん(15歳未満)

医療圏	病名 (大阪府における罹患数)	脳腫瘍 ^{*3} (127)		骨軟部腫瘍 ^{*4} (78)	
		2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数
市北部	田附興風会 北野病院	4	3	-	-
	大阪市立総合医療センター *	36	21	18	10
	淀川キリスト教病院	<3	<3	-	-
市西部	大阪厚生年金病院	<3	<3	-	-
	大阪赤十字病院 *	<3	<3	<3	-
市東部	大阪警察病院	<3	-	-	-
	大阪府立成人病センター *	-	-	4	4
	済生会野江病院	-	<3	-	-
	国立 大阪医療センター *	5	7	3	5
市南部	大阪市立大学医学部附属病院 *	7	4	7	4
	府立急性期・総合医療センター	<3	<3	<3	-
	市立池田病院	-	-	-	-
豊能	市立豊中病院 *	3	3	-	-
	市立吹田市民病院	4	<3	-	-
	大阪大学医学部附属病院 *	11	8	16	12
	済生会千里病院	-	-	-	-
三島	大阪医科大学附属病院 *	6	4	-	-
	愛仁会 高槻病院	<3	-	-	-
北河内	星ヶ丘厚生年金病院	<3	-	-	-
	関西医科大学附属枚方病院 *	10	4	<3	<3
中河内	松下記念病院	-	-	<3	<3
	東大阪市立総合病院 *	5	4	<3	<3
南河内	近畿大学医学部附属病院 *	4	4	5	4
	市立堺病院	<3	<3	-	-
堺市	大阪労災病院 *	-	-	-	-
	ペルランド総合病院	-	-	-	-
泉州	市立岸和田市民病院 *	-	-	-	-
	市立泉佐野病院	3	<3	-	-
	大阪府立母子保健総合医療センター	10	-*	13	-*
	徳洲会 岸和田徳洲会病院	<3	<3	-	-

がん種毎における小児(15歳未満)がん受療動向 ③その他固形腫瘍

～ 2004年-2008年受療動向 ～

その他固形腫瘍

神経芽腫 74名



腎芽腫 16名



肝芽腫 11名



網膜芽腫 24名



(参考)小児がん連携ワーキンググループ参加病院
(ワーキング参加病院は全てがん拠点病院に指定されている)

大阪市立総合医療センター、大阪府立母子保健総合医療センター
北野病院、大阪赤十字病院、国立病院機構大阪医療センター
大阪市立大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、大阪医科大学附属病院、
関西医科大学附属枚方病院、近畿大学医学部附属病院

拠点病院における初診等動向

表2. 受療状況集計表(2004-2008年診断患者)-小児がん(15歳未満)

医療圏	病名 (大阪府における罹患数)	神経芽腫 (74)		腎芽腫 (16)	
		2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数 ^{*1}	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数
市北部	田附興風会 北野病院	<3 ^{*2}	<3	-	-
	大阪市立総合医療センター *	33	14	4	<3
市東部	大阪赤十字病院 *	<3	-	-	-
	大阪府立成人病センター *	-	-	-	-
市南部	大阪市立大学医学部附属病院 *	<3	<3	<3	-
	市立豊中病院 *	-	-	<3	-
豊能	大阪大学医学部附属病院 *	14	11	3	4
	箕面市立病院	<3	-	-	-
三島	大阪医科大学附属病院 *	<3	-	-	-
	愛仁会 高槻病院	<3	-	-	-
北河内	関西医科大学附属枚方病院 *	<3	-	<3	<3
	松下記念病院	<3	-	-	-
南河内	近畿大学医学部附属病院 *	<3	-	-	-
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	17	-*	6	-*

表2. 受療状況集計表(2004-2008年診断患者)-小児がん(15歳未満)

医療圏	病名 (大阪府における罹患数)	肝芽腫 (11)		網膜芽腫 (24)	
		2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数
市北部	田附興風会 北野病院	<3	-	-	-
	大阪市立総合医療センター *	<3	<3	5	3
市東部	大阪赤十字病院 *	-	-	-	-
	大阪府立成人病センター *	-	-	-	-
市南部	大阪市立大学医学部附属病院 *	<3	<3	-	-
	市立豊中病院 *	<3	-	-	-
豊能	大阪大学医学部附属病院 *	-	<3	-	-
	箕面市立病院	-	-	-	-
三島	大阪医科大学附属病院 *	<3	<3	-	-
	愛仁会 高槻病院	-	-	<3	-
北河内	関西医科大学附属枚方病院 *	-	-	-	-
	松下記念病院	-	-	-	-
南河内	近畿大学医学部附属病院 *	-	-	-	-
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	5	-*	14	-*

療養環境の状況 及び 晩期合併症について

小児がん連携ワーキング病院の療養環境の状況

大阪府立成人病センター大阪がん情報提供コーナーHP

大阪府における小児がんの診療実態

その1 診療体制

最終更新年月日 2013年9月10日

二次医療圏	病院名	小児がん病床数(床)		小児がんに従事する常勤医師数(人)							看護師 (人)	保育士 (人)	臨床心 理士 (人)	その他 専門医 (人)
		小児がん病床数 (おおよその数を含む)	小児がん病床数	児内 ¹⁾	児外 ²⁾	脳外 ³⁾	整形外科 ⁴⁾	眼科	泌尿 ⁵⁾	放射 ⁶⁾				
大阪市	大阪市立総合医療センター	不定	50	4	4	3	1	3	2	4	3	2	2	1
大阪市	北野病院	38	3	4**	2	6**	0	5**	0	2**	1**	35**	2	1**
大阪市	大阪赤十字病院	45	5	2	0	6	0	0	0	2	2	-	1	0
大阪市	大阪医療センター	12	3	2	0	3	3	0	0	2**	4**	28**	1	3**
大阪市	大阪市立大学	46	12	1	3	2	2	0	1	4	24	2	1	1
豊能	大阪大学	87	23-30	4	4	7	4	2	0	4	3	30	2	2
三島	大阪医科大学	42	10	2	0	2	1	0	0	3**	5**	34	1	1
北河内	関西医科大学	33	10	2	3	2	0	2	0	4	5	-	-	-
南河内	近畿大学	35	8	3	2	0	2	0	0	3	5	27	3	0
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	85	32	5	7	3	1	1	3	1	3	29	2	2

**全体の数で小児がん専門ではない。

- 1)小児内科
- 2)小児外科
- 3)脳神経外科
- 4)整形外科
- 5)泌尿器科
- 6)放射線治療科
- 7)病理部

その3 患者支援

最終更新年月日 2013年9月10日

二次医療圏	病院名	緩和ケア チーム	小児在 宅支援	セカンドオピニオン対応 (小児)	患者支援窓口	ファミリーハウス
大阪市	大阪市立総合医療センター	○	○	脳、悪性骨軟部、眼・眼窩、その他固形、血液	がん相談支援センター	○
大阪市	北野病院	○	×	脳、その他固形、血液	がん診療連携支援センター	×
大阪市	大阪赤十字病院	○	×	血液	がん相談支援センター	×
大阪市	大阪医療センター	○	×	脳、悪性骨軟部、その他固形、血液	がん相談支援室	×
大阪市	大阪市立大学	○	×	脳、悪性骨軟部、その他固形、血液	がん相談支援センター	×
豊能	大阪大学	○	○	脳、悪性骨軟部、眼・眼窩、その他固形、血液	がん相談支援室	○
三島	大阪医科大学	○	×	悪性骨軟部、血液	がん相談支援室	×
北河内	関西医科大学	○	×	その他固形、血液	がん相談支援窓口	×
南河内	近畿大学	○	×	脳、その他固形、血液	がん相談支援センター	×
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	○	×	その他固形、血液	小児がん相談窓口	○

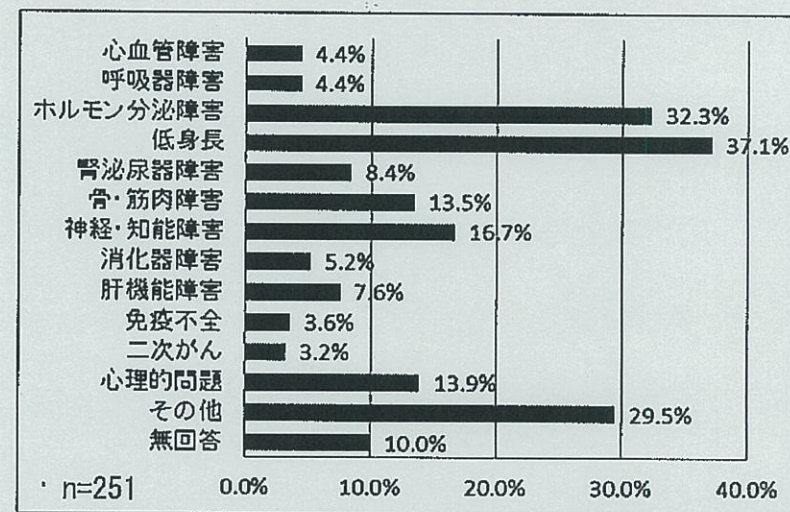
長期フォローアップについて

平成24年度第1回小児がん部会(平成24年7月4日開催)

資料 ~公益財団法人 がんの子どもを守る会~

2011年7月~10月 小児がん患児家族に対する実態調査(全国)

晩期合併症と思われるもの(複数回答可)



小児がん経験者の半数、20歳以上の経験者の約67%に晩期合併症がみられますが、自分の症状が晩期合併症によるものなのかといったことや、セカンドオピニオンを受けられる施設などを気軽に相談できる窓口がありません。

第1フェーズ

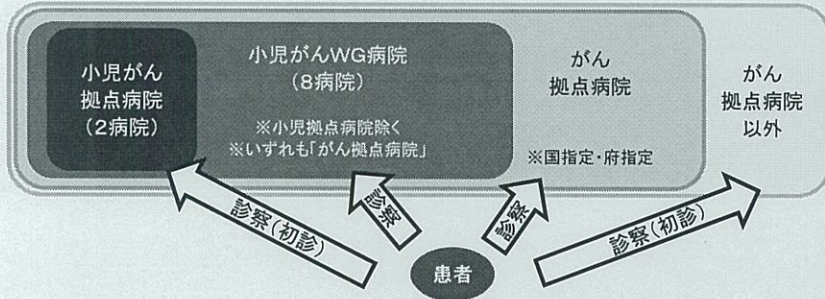
第2フェーズに、何に取り組むべきか
がん種別に検討

連携協議会
小児・AYA部会

小児がん患者の初診提供体制

小児がん患者へ出来る限り「早期に」「適切に」主治療が提供できる体制の確保

【検討指標】 初診における患者受療動向



取り組むべき課題の検討、優先して実行すべき課題の検討

小児がん拠点・ワーキング病院への更なる集約の推進
拠点施設への症例数確保による治癒率の更なる向上と療養環境の向上

【検討指標】 初診における患者受療動向 (第1フェーズと同指標)

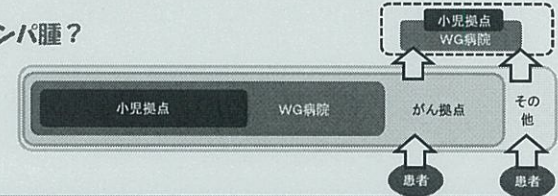
肝芽腫、網膜芽腫
等の希少がん?



小児がん拠点・ワーキング病院によるバックアップ体制の確保
拠点施設による後送病院としての役割分担・連携体制の構築

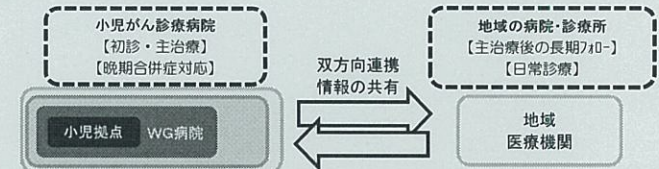
【検討指標】 がん登録情報をベースに治療カバー率を算出可能

白血病、悪性リンパ腫?



がんサバイバーの長期フォローアップ、晩期合併症対応
主治療病院と、日常診療を担う地域医療機関との連携体制の構築

【検討指標】 ※検討



治療困難な方への対応

小児がん拠点病院等による高度な医療の提供、ターミナルケアへの対応等

【検討指標】 ※検討



【3】

**AYA世代のがん種毎の実態把握と
今後の方向性について**

がん登録事業におけるAYA世代(15歳～29歳)がん患者の受療動向①

(1) がん登録事業におけるAYA世代のがんの罹患割合 2-1

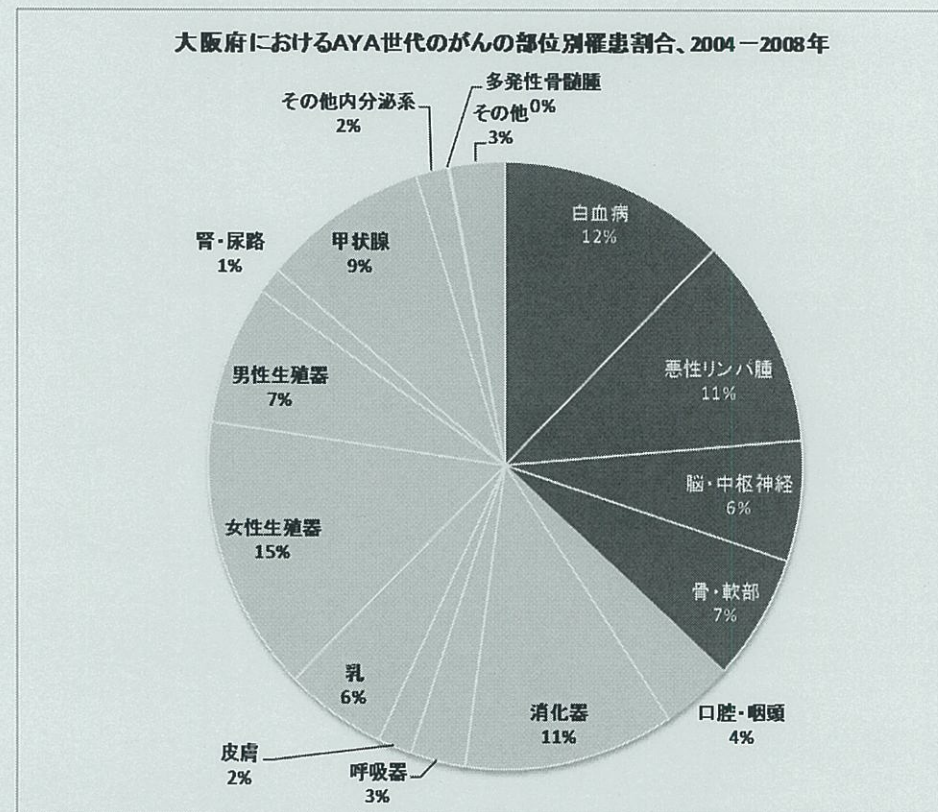
AYA世代

思春期・若年成人をAYA(adolescents and young adults)世代という一つの集団として捉えるようになっており、この世代に発生するがんの特徴が明らかになりつつある。すなわち、症例数が小児に比べ多いことや、疾患分布が他の世代とは異なること(成人がんがみられる一方、白血病、悪性リンパ腫の頻度が高い)、治療成績の進歩が乏しいこと、就学や就職、費用など社会的な問題を抱えていることなどが指摘されている。

～ 第34回 近畿小児がん研究会 抄録より ～

大阪府におけるAYA世代のがんの部位別罹患数、罹患割合<上皮内がんを除く> 男女計、2004-2008年

部位	ICD-10	罹患数	割合(%)	
全部位	C00-96	1,141	100	
口腔・咽頭	C00-14	44	3.86	
胃	C16	61	5.35	消化器
十二指腸	C17	2	0.18	
大腸	C18-20	52	4.56	
肝及び肝内胆管	C22	8	0.7	
胆のう・胆管	C23-24	3	0.26	
膵臓	C25	4	0.35	呼吸器
鼻腔、副鼻腔	C30-31	5	0.44	
喉頭	C32	1	0.09	
肺	C33-34	28	2.45	骨・軟部
骨・関節	C40-41	40	3.51	
結合織	C47+C49	37	3.24	
皮膚	C43-44	21	1.84	女性生殖器
乳	C50	63	5.52	
子宮	C53-55	88	7.71	
子宮頸部	C53	74	6.49	
子宮体部	C54	13	1.14	
卵巣	C56	80	7.01	男性生殖器
精巣	C62	85	7.45	
腎・尿路	C64-66,C68	9	0.79	腎・尿路
膀胱	C67	7	0.61	
脳・中枢神経	C70-72	74	6.49	
甲状腺	C73	103	9.03	
その他内分泌系	C74-75	20	1.75	
悪性リンパ腫	C81-85,C96	129	11.31	
多発性骨髄腫	C88,C90	1	0.09	
白血病	C91-95	141	12.36	
その他・不明		35	3.07	

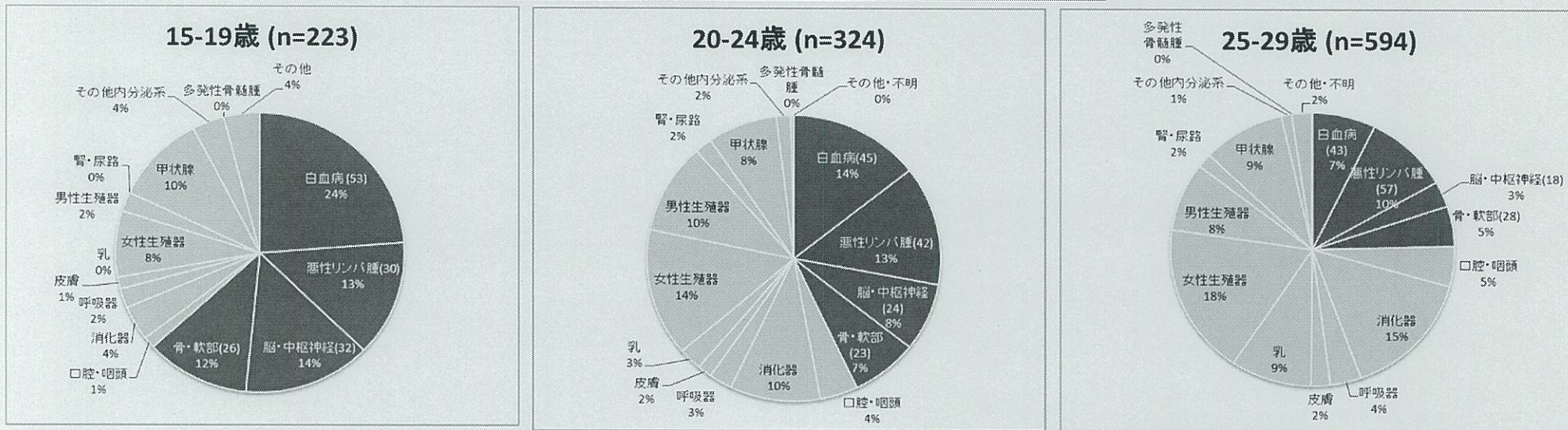


がん登録事業におけるAYA世代(15歳~29歳)がん患者の受療動向②

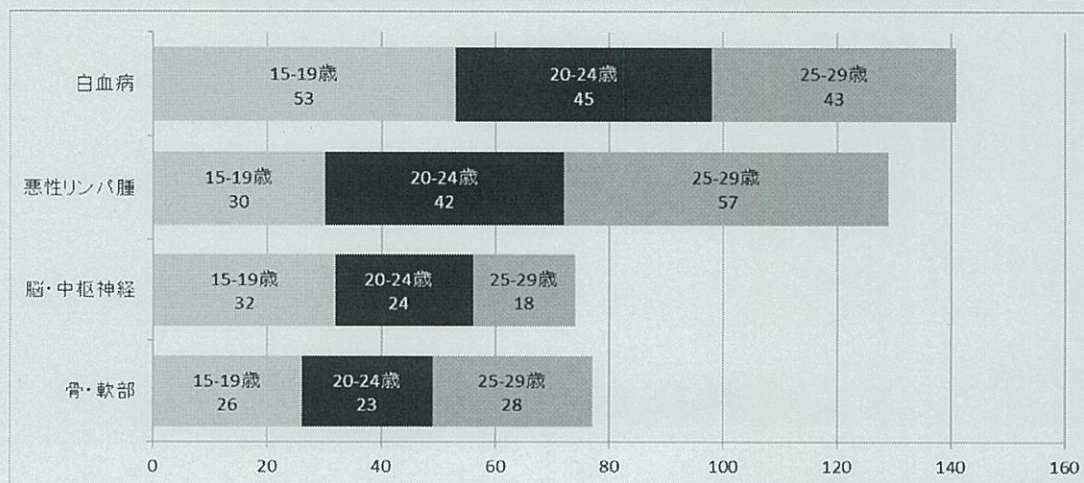
(1) がん登録事業におけるAYA世代のがんの罹患割合 2-2

大阪府におけるAYA世代のがんの年齢階級別・部位別罹患数<上皮内がんを除く> 男女計、2004-2008年

年齢階級別の部位別罹患割合



子どもに多いがん罹患したAYA世代のがん種別年齢構成



がん登録事業におけるAYA世代(15歳~29歳)がん患者の受療動向③

(2) がん拠点病院におけるAYA世代がん患者の受療動向

大阪府におけるAYA世代がんの受療状況まとめ

(2004-2008年初診患者数^{*5}/2004-2008年大阪府の罹患者数)

罹患者数	白血病 ^{*1}		悪性リンパ腫 ^{*2}		脳腫瘍 ^{*3}		骨軟部腫瘍 ^{*4}	
	141		129		74		87	
	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)	初診患者数	カバー率(%)
1) 国・府がん拠点病院	128	89.4	123	95.4	64	86.5	81	89.7
① 国拠点 ^{*6}	67	47.5	82	63.6	52	70.3	72	82.8
② 府拠点 ^{*7}	59	41.8	41	31.8	12	16.2	6	6.9
2) その他	15	10.6	6	4.7	10	13.5	9	10.3
① 府内	8	5.7	4	3.1	8	10.8	6	6.9
② 府外	7	4.9	2	1.6	2	2.7	3	3.4
(再掲) 小児がん拠点病院 ^{*8}	8	5.7	9	7.0	6	8.1	7	8.1
(再掲) 大阪府小児がんWG ^{*9}	62	44.0	68	52.7	38	51.4	36	41.4

- *1 ICD10 C91-95
- *2 ICD10 C81-85, C96
- *3 ICD10 C70-C72
- *4 ICD10 C40-41, C47, C49
- *5 診断について複数の医療機関から届出のあった場合は、診断日が最古の医療機関で集計。
- *6 厚生労働省指定がん診療連携拠点病院 14施設 (2014年1月現在)
- *7 大阪府指定がん診療拠点病院 46施設 (2014年1月現在)
- *8 厚生労働省指定小児がん拠点病院 2施設 (2014年1月現在)
- *9 大阪府小児がんWG参加施設 10施設 (2014年1月現在)

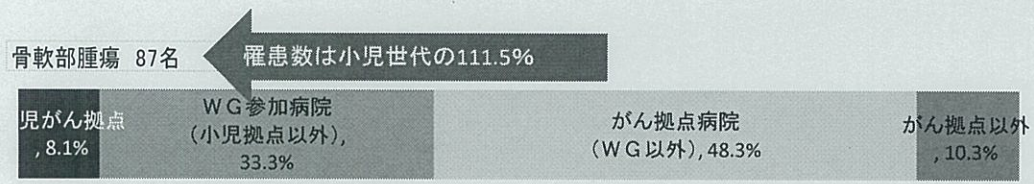
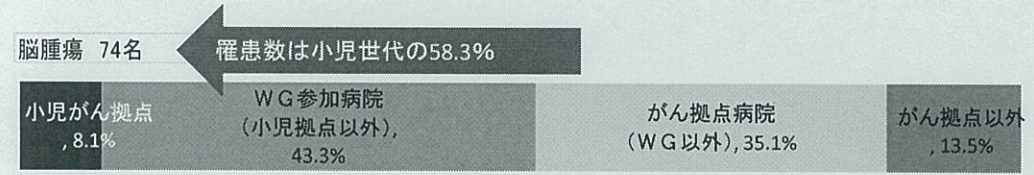
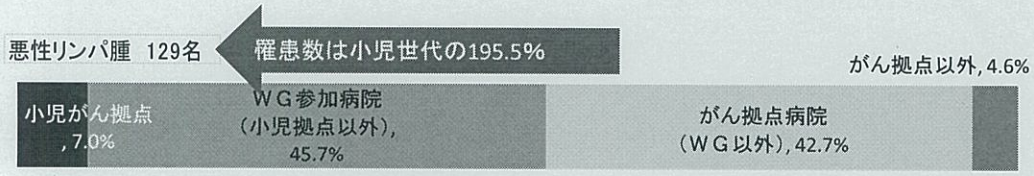
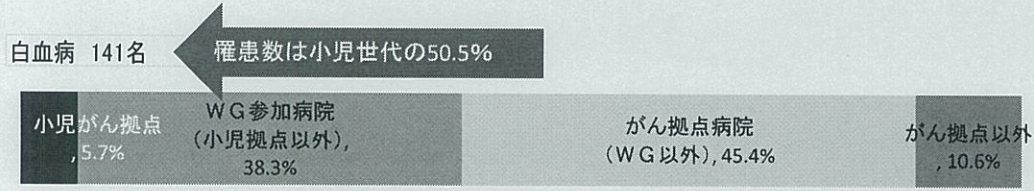
表3. 受療状況集計表(2004-2008年診断患者) - AYA世代のがん(15-29歳)

医療圏	医療機関名	白血病 ^{*1} (141)		悪性リンパ腫 ^{*2} (129)		脳腫瘍 ^{*3} (74)		骨軟部腫瘍 ^{*4} (87)	
		2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数 ^{*5}	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数
市北部	済生会中津病院	3	<3	-	-	-	-	-	-
	田附興風会 北野病院	6	3	5	4	<3	<3	-	-
	住友病院	7	7	7	7	-	-	-	-
	大阪市立総合医療センター *	6	6	9	9	5	3	6	3
市西部	淀川キリスト教病院	-	<3	-	-	<3	<3	<3	<3
	関西電力病院	-	-	<3	<3	-	-	-	-
	日本生命済生会付属 日生病院	<3 ^{*5}	<3	-	-	-	-	-	-
市東部	大阪赤十字病院 *	6	3	8	<3	<3	<3	-	-
	大阪警察病院	-	-	3	<3	-	-	-	-
	NTT西日本大阪病院	-	-	-	<3	-	-	-	-
	大阪府立成人病センター *	5	4	9	7	9	3	37	26
市南部	国立 大阪医療センター *	<3	-	4	6	-	-	4	4
	大手前病院	-	-	-	-	<3	<3	-	-
	大阪市立大学医学部附属病院 *	12	7	18	14	16	13	10	6
	府立急性期・総合医療センター 大阪鉄道病院	<3	<3	<3	<3	3	3	<3	<3
豊能	市立池田病院	<3	<3	-	-	-	-	<3	<3
	市立豊中病院 *	3	3	3	<3	<3	<3	-	-
	市立吹田市民病院	7	6	4	4	<3	<3	-	-
	大阪大学医学部附属病院 *	6	4	9	8	4	4	8	5
三島	箕面市立病院	<3	-	<3	<3	-	-	-	-
	大阪医科大学附属病院 *	7	3	7	5	<3	<3	<3	<3
	高槻赤十字病院	5	5	<3	<3	-	-	-	-
	愛仁会 高槻病院	-	-	<3	<3	-	-	-	<3
北河内	星ヶ丘厚生年金病院	<3	<3	-	-	<3	-	-	-
	関西医科大学附属枚方病院 *	5	3	3	-	4	<3	-	-
	松下記念病院	8	7	<3	<3	<3	-	<3	-
中河内	東大阪市立総合病院 *	3	4	3	<3	<3	<3	-	-
	八尾市立病院	-	-	<3	<3	-	-	-	-
	徳洲会 八尾徳洲会総合病院	-	-	<3	<3	-	-	-	-
南河内	近畿大学医学部附属病院 *	10	9	5	4	4	3	5	4
	国立 大阪南医療センター *	-	-	3	3	<3	-	-	-
	府立呼吸器・アレルギー医療センター	-	-	<3	-	-	-	-	-
	宝生会 P.L.病院	-	-	<3	<3	-	-	-	-
堺市	市立堺病院	4	4	<3	<3	-	-	-	-
	大阪労災病院 *	-	-	<3	-	<3	<3	-	-
	ペルランド総合病院	-	-	<3	<3	-	-	<3	<3
	国立 近畿中央胸部疾患センター	-	-	<3	<3	-	-	-	-
東州	生長会 府中病院	6	6	<3	<3	-	-	-	-
	市立岸和田市民病院 *	<3	<3	-	-	<3	<3	-	-
	市立泉佐野病院	4	3	3	3	<3	<3	-	-
	大阪府立母子保健総合医療センター	<3	-*	-	-*	<3	-*	<3	-*

*1 ICD10 C91-95
 *2 ICD10 C81-85, C96
 *3 ICD10 C70-C72
 *4 ICD10 C40, C41, C47-49
 *5 治療について複数の医療機関から届出のあった場合は、主治療をした医療機関で集計。
 主治療は手術(体腔鏡手術と内視鏡手術を含む)>放射線治療>TAE>エタノール注入>レーザー治療>化学療法>ホルモン療法>免疫療法の順番
 なお、治療とは初回治療を意味し、初回治療情報の届け出がなかった場合は計上されない。
 6 患者数が3未満の場合は"<3"、患者数が0の場合は"-"とした。なお、信頼性が低い場合は"-*"とした。

子どもに多いがんに罹患したAYA世代のがん種毎における受療動向

～ 2004年－2008年受療動向 ～



(参考)小児がん連携ワーキンググループ参加病院
(ワーキング参加病院は全てがん拠点病院に指定されている)

大阪市立総合医療センター、大阪府立母子保健総合医療センター
北野病院、大阪赤十字病院、国立病院機構大阪医療センター
大阪市立大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、大阪医科大学附属病院、
関西医科大学附属枚方病院、近畿大学医学部附属病院

拠点病院における初診等動向

表3. 受療状況集計表(2004-2008年診断患者)-AYA世代のがん(15-29歳)

医療圏	病名 (大阪府における罹患数)	白血病 ¹⁾ (141)		悪性リンパ腫 ²⁾ (129)		脳腫瘍 ³⁾ (74)		骨軟部腫瘍 ⁴⁾ (87)	
		2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数 ⁵⁾	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数	2004-08 初診 患者数	2004-08 初発 主治療 患者数
市北部	済生会中津病院	3	<3	-	-	-	-	-	-
	田附興風会 北野病院	6	3	5	4	<3	<3	-	-
	住友病院	7	7	7	7	-	-	-	-
	大阪市立総合医療センター * 淀川キリスト教病院	6	6	9	9	5	3	6	6
市西部	関西電力病院	-	-	<3	<3	-	-	-	-
	日本生命済生会付属 日生病院	<3 ⁶⁾	<3	-	-	-	-	-	-
市東部	大阪赤十字病院 *	6	3	8	<3	<3	<3	-	-
	大阪警察病院	-	-	3	<3	-	-	-	-
	NTT西日本大阪病院	-	-	-	<3	-	-	-	-
	大阪府立成人病センター * 国立 大阪医療センター *	5	4	9	7	9	3	37	4
市南部	大手前病院	-	-	-	-	<3	<3	-	-
	大阪市立大学医学部附属病院 * 府立急性期・総合医療センター 大阪鉄道病院	12	7	18	14	16	13	10	10
	市立池田病院	<3	<3	-	-	-	-	-	<3
	市立豊中病院 *	3	3	3	<3	<3	<3	-	-
豊能	市立吹田市民病院	7	6	4	4	<3	<3	-	-
	大阪大学医学部附属病院 *	6	4	9	8	4	4	8	8
	箕面市立病院	<3	-	<3	<3	-	-	-	-
三島	大阪医科大学附属病院 *	7	3	7	5	<3	<3	<3	<3
	高槻赤十字病院 愛仁会 高槻病院	5	5	<3	<3	-	-	-	-
北河内	星ヶ丘厚生年金病院	<3	<3	-	-	<3	-	-	-
	関西医科大学附属枚方病院 * 松下記念病院	5	3	3	-	4	<3	-	<3
	東大阪市立総合病院 * 八尾市立病院	8	7	<3	<3	<3	-	-	<3
中河内	徳洲会 八尾徳洲会総合病院	3	4	3	<3	<3	<3	-	-
	南河内	-	-	<3	<3	-	-	-	-
	近畿大学医学部附属病院 * 国立 大阪南医療センター * 府立呼吸器・アレルギー医療センター 宝生会 PL病院	10	9	5	4	4	3	8	8
堺市	市立堺病院	-	-	<3	<3	-	-	-	-
	大阪労災病院 * ペルランド総合病院	4	4	<3	<3	-	-	-	-
	国立 近畿中央胸部疾患センター 生長会 府中病院	-	-	<3	<3	-	-	-	-
	市立岸和田市民病院 * 市立泉佐野病院	6	6	<3	<3	-	-	-	-
泉州	市立泉佐野病院 大阪府立母子保健総合医療センター	<3	<3	-	-	<3	<3	-	-
	市立泉佐野病院	4	3	3	3	<3	<3	-	-

*1 2004年 091-95

AYA世代のがん患者への療養環境の状況

その2 療養環境

最終更新年月日 2013年9月10日

二次医療圏	病院名	小児血液・ がん学会 認定研修施設	AYA 病棟	院内小・中学校	AYAチーム AYA世代の患者のためのプログラム
大阪市	大阪市立総合医療センター	○	○	○ 大阪市立光陽支援学校	○
大阪市	北野病院	○	×	△(訪問3/週) 府立刀根山支援学校	×
大阪市	大阪赤十字病院	○	×	○ 府立堺支援学校	×
大阪市	大阪医療センター	○	×	△(訪問3/週)	×
大阪市	大阪市立大学	○	×	○ 市教育委員会	×
豊能	大阪大学	○	×	○ 府立刀根山支援学校	オンコロジーセンターとして作成中
三島	大阪医科大学	-	×	○ 府立刀根山支援学校	×
北河内	関西医科大学	-	×	○ 府立刀根山支援学校	×
南河内	近畿大学	○	×	○ 府立羽曳野支援学校	×
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	○	×	○ 府立羽曳野支援学校	○(青少年ルームあり)

院内高校については、府立高校の場合、入院病院にかかわらず週3回の訪問授業が行われています。

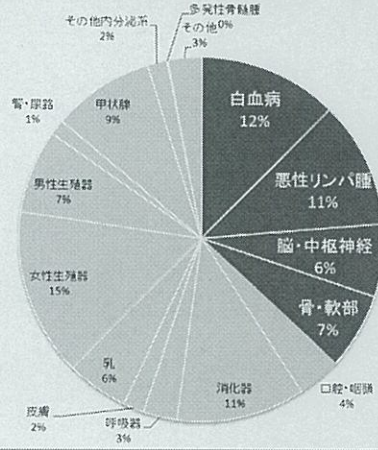
第1フェーズ

AYA世代のがん患者の初診提供体制

出来る限り「早期に」「適切に」主治療が提供できる体制の確保
小児プロトコルの方が適切な患者への対応

【検討指標】 初診における患者受療動向

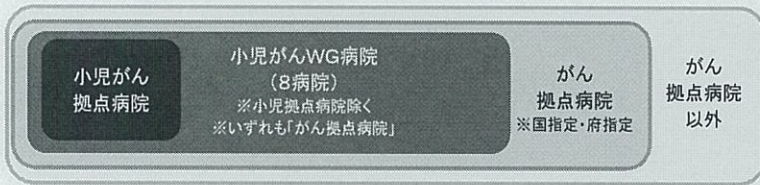
大阪府におけるAYA世代のがんの部位別罹患割合、2004-2008年



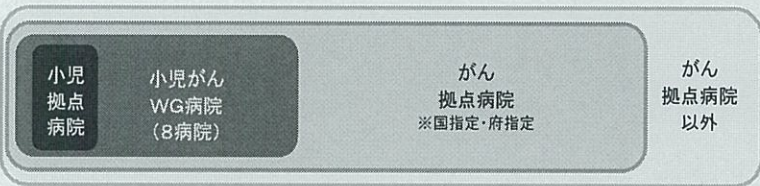
子どもに多い
がんに罹患した
AYA世代
への対応

【小児(15歳未満)との受療動向の違い】

◆小児がんの受療動向の傾向



◆AYA世代の受療動向の傾向

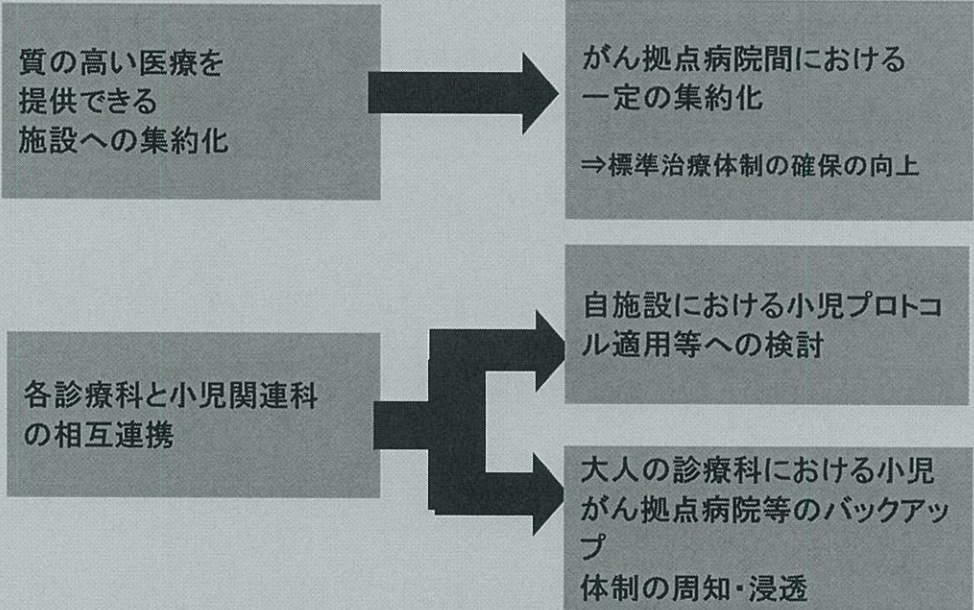


第2フェーズに、何に取り組むべきか
がん種別に検討

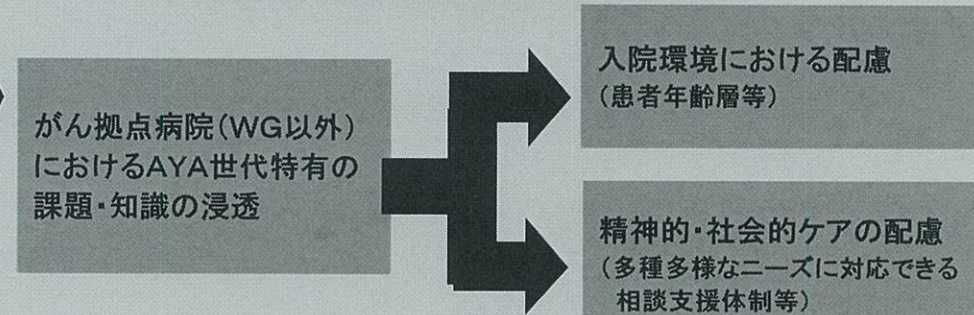
連携協議会
小児・AYA部会

取り組むべき課題の検討・優先して実行すべき課題の検討

医療水準の向上



療養環境の向上



【4】

**情報把握と相談支援の
充実について**

(1) 情報提供の状況

大阪府立成人病センター大阪がん情報提供コーナーHP

情報提供：大阪府立成人病センター

大阪 **がん情報** 提供コーナー

[当サイトの使い方](#)
[各部署科・リンク集](#)
[サイトマップ](#)

[トップページ](#)
[連携パス検索](#)
[がん診療NOW](#)
[拠点病院検索](#)
[臨床試験検索](#)
[がん診療コラム](#)

がんに関するさまざまな情報を提供いたします。
大阪府のがん診療情報等をわかりやすく紹介したり検索したりできます。

[このサイトの使い方を見る](#)

お知らせ

2014/01/09 ▶ 大阪府がん診療地域連携パス検索サイトに産婦科地域連携パスを追加いたしました [詳しい情報を見る](#)

2013/10/02 ▶ 臨床試験情報検索システムで「小児がん・AYA」項目での検索が可能になりました [詳しい情報を見る](#)

2013/09/26 ▶ 小児がん診療ページが追加されました [詳しい情報を見る](#)

2013/05/10 ▶ よくわかる！大阪のがん診療NOWの診療情報が更新されました [詳しい情報を見る](#)

2013/03/13 ▶ がん診療拠点病院の「拠点病院現況報告」を平成24年度版に更新しました [詳しい情報を見る](#)

[お知らせをもっと見る](#)

がん拠点病院検索
国・府指定がん拠点病院を検索。
専門外来・緩和ケアの有無など
詳細情報が調べられます。

大阪府がん診療
地域連携パス検索
病名・住所などの条件で
探すからあなたに最適な
医療機関が見つかる

小児がん診療
思春期・若年成人の
がん診療もわかる

がん診療コラム（毎日新聞に掲載された記事を紹介）
社会の禁煙化 [コラムを読む](#)
 大阪府立成人病センター調査部調査課員 田中政宏
早期発見で9割完治 [コラムを読む](#)

①

相談支援・情報提供の実施状況について ②

大阪府立成人病センター大阪がん情報提供コーナーHP

■ 大阪の小児がん診療

1. 小児がんとは？ 思春期・若年成人（AYA世代）のがんとは？
2. 大阪府の小児がん診療
3. 大阪府の小児がん・AYA世代のがんの現状（統計データより）



1. 小児がんとは？ 思春期・若年成人（AYA世代）のがんとは？

小児がんとは？（右の+をクリックすると詳細が表示されます）

小児（一般的には0歳から15歳未満）に発生する悪性腫瘍の総称です。比較的まれな疾患で、大阪府での発生率は100万人あたり1年間に約130人*です。わが国での新規罹患数は年種2000人～2500人といわれています。小児のがんは、白血病、脳腫瘍、神経芽腫、肉腫などが多く、成人のがんと疾患が異なります。治療は、それぞれの疾患および腫瘍の進展度あるいは転移の程度に応じて、化学療法、手術、放射線療法や造血幹細胞移植などが必要で、長期の入院が必要となる場合もあります。

*International Incidence of Childhood Cancer, vol. II : IACR より

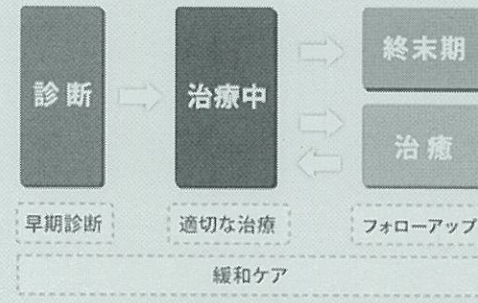
※ 詳しくはこちら↓

国立成育医療センターの小児がん情報ステーションへ

AYA世代のがんとは？（右の+をクリックすると詳細が表示されます）

小児と成人の境界の世代、すなわち思春期・若年成人に発生する悪性腫瘍を、Adolescents and Young Adults : AYA世代のがんと呼んでいます。どの年齢を含めるかについては、報告によりさまざまですが、ここでは15歳以上29歳未満に発生する悪性腫瘍のことをさします。疾患分布は、詳しくは明らかではありませんが、大阪府の罹患データからは、白血病、消化器がん、婦人科がん、内分泌系腫瘍、リンパ腫、中枢神経腫瘍（脳腫瘍）などが多いことが分かっています。つまり、白血病など、小児に多いがんに加え、消化器がんなどの成人がんも多く含まれるようになり、多種多様ながんが発生しています。それぞれの疾患および腫瘍の進展度あるいは転移の程度に応じた治療が必要ですが、進学、就職、結婚、出産など、さまざまな社会的変化を伴う年代であり、年齢に応じた療養環境や人的サポートが必要な年代です。

1.2. 大阪の小児がん診療



小児がん診療を行うには、成人と同様、早期診断、適切な治療、緩和ケア、フォローアップといった、トータルケアが必要です。さらに小児の発達・発育段階に対応した保育、教育や家族への支援も重要です。

大阪府では、厚生労働省指定小児がん拠点病院の2施設と、他の8つの医療機関（府または国指定がん拠点病院）が連携し、小児がんの診療を行っています。

【大阪府小児がん連携ワーキンググループ】

【大阪府小児がん連携ワーキンググループ参加施設】

※ 病院名をクリックすると病院オリジナルページへリンクします。

1. 大阪市立総合医療センター
2. 北野病院
3. 大阪赤十字病院
4. 国立成育医療センター大阪医療センター
5. 大阪府立大学医学部附属病院
6. 大阪大学医学部附属病院
7. 大阪理科大学附属病院
8. 関西医科大学附属病院
9. 近畿大学医学部附属病院
10. 大阪府立母子医療総合医療センター



※ 赤：厚生労働省指定小児がん拠点病院
青：府または国指定がん拠点病院

地図の番号をクリックします。

各施設の受け入れ可能な疾患とコメントが表示されます。

受け入れ可能な疾患

コメント

(拡大)

地図の番号をクリックします。

各施設の受け入れ可能な疾患とコメントが表示されます。

受け入れ可能な疾患

コメント

① 相談支援・情報提供の実施状況について ③

大阪府立成人病センター大阪がん情報提供コーナーHP

上記10施設の診療実績が分かります。



大阪府における小児がんの診療実績

その1 診療体制

二次医療圏	病院名	小児がん病床数(床)		小児がんに従事する常勤医師数(人)							看護師(人)	保育士(人)	臨床心理士(人)	チャイルドライフ・フェスティバル・プログラム・コーディネーター(人)	
		小児科病床数	小児がん病床数 (おおよその数をあわせ)	児内 ¹⁾	児外 ²⁾	脳外 ³⁾	整外 ⁴⁾	眼科	泌尿 ⁵⁾	放治 ⁶⁾					病理 ⁷⁾
大阪市	大阪市立総合医療センター	不定	50	4	4	3	1	3	2	4	3	2	2	1	
大阪市	北野病院	38	3	4**	2	6**	0	5**	0	2**	1**	35**	2	1**	0
大阪市	大阪赤十字病院	45	5	2	0	6	0	0	0	2	2	-	1	-	0
大阪市	大阪医療センター	12	3	2	0	3	3	0	0	2**	4**	28**	1	3**	0
大阪市	大阪市立大学	46	12	1	3	2	2	0	0	1	4	24	2	1	1
豊能	大阪大学	87	23-30	4	4	7	4	2	0	4	3	30	2	2	1
三島	大阪医科大学	42	10	2	0	2	1	0	0	3**	5**	34	1	1	0
北河内	関西医科大学	33	10	2	3	2	0	2	0	4	5	-	-	-	-
南河内	近畿大学	35	8	3	2	0	2	0	0	3	5	27	3	0	1
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	85	32	5	7	3	1	1	3	1	3	29	2	2	1

**全体の数で小児がん専門ではない。

- 1)小児内科
- 2)小児外科
- 3)脳神経外科
- 4)整形外科
- 5)泌尿器科
- 6)放射線治療科
- 7)病理部

最終更新年月日 2013年9月10日

その2 療養環境

二次医療圏	病院名	小児血液・がん学会認定研修施設	AYA病棟	院内小・中学校	AYAチーム AYA世代の患者のためのプログラム
大阪市	大阪市立総合医療センター	○	○	○ 大阪市立光陽支援学校	○
大阪市	北野病院	○	×	△(訪問3/週) 府立刀根山支援学校	×
大阪市	大阪赤十字病院	○	×	○ 府立堺支援学校	×
大阪市	大阪医療センター	○	×	△(訪問3/週)	×
大阪市	大阪市立大学	○	×	○ 市教育委員会	×
豊能	大阪大学	○	×	○ 府立刀根山支援学校	オンコロジーセンターとして作成中
三島	大阪医科大学	-	×	○ 府立刀根山支援学校	×
北河内	関西医科大学	-	×	○ 府立刀根山支援学校	×
南河内	近畿大学	○	×	○ 府立羽曳野支援学校	×
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	○	×	○ 府立羽曳野支援学校	○(青少年ルームあり)

最終更新年月日 2013年9月10日

院内高校については、府立高校の場合、入院病院にかかわらず週3回の訪問授業が行われています。

その3 患者支援

二次医療圏	病院名	緩和ケアチーム	小児在宅支援	セカンドオピニオン対応(小児)	患者支援窓口	ファミリーハウス
大阪市	大阪市立総合医療センター	○	○	脳、悪性骨軟部、眼・眼窩、その他固形、血液	がん相談支援センター	○
大阪市	北野病院	○	×	脳、その他固形、血液	がん診療連携支援センター	×
大阪市	大阪赤十字病院	○	×	血液	がん相談支援センター	×
大阪市	大阪医療センター	○	×	脳、悪性骨軟部、その他固形、血液	がん相談支援室	×
大阪市	大阪市立大学	○	×	脳、悪性骨軟部、その他固形、血液	がん相談支援センター	×
豊能	大阪大学	○	○	脳、悪性骨軟部、眼・眼窩、その他固形、血液	がん相談支援室	○
三島	大阪医科大学	○	×	悪性骨軟部、血液	がん相談支援室	×
北河内	関西医科大学	○	×	その他固形、血液	がん相談支援窓口	×
南河内	近畿大学	○	×	脳、その他固形、血液	がん相談支援センター	×
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	○	×	その他固形、血液	小児がん相談窓口	○

最終更新年月日 2013年9月10日

その4 診療実績

二次医療圏	病院名	2011年 造血幹細胞移植数		小児がん 臨床研究 (プロトコル数) **	小児がん 保険外治療 **
		自家*	同種*		
大阪市	大阪市立総合医療センター	7	13	12	0
大阪市	北野病院	0	0	8	0
大阪市	大阪赤十字病院	0	7	5	0
大阪市	大阪医療センター	-	-	13	0
大阪市	大阪市立大学	2	3	3	0
豊能	大阪大学	4	9	7	1
三島	大阪医科大学	2	3	16	0
北河内	関西医科大学	-	-	2	0
南河内	近畿大学	0	4	0	0
泉州	大阪府立母子保健総合医療センター	2	29	10	-

最終更新年月日 2013年9月10日

*日本造血細胞移植学会平成24年度全国調査報告書より

**がん診療拠点病院H24年現況報告より

①

相談支援・情報提供の今後の方向性

第1フェーズ

情報提供

- ◆ **がん情報の集約と発信**
府立成人病C「がん情報提供コーナー」を検索すれば大阪府内の成人がんも小児がんも全てここで情報の入手が可能
- ◆ **小児がん診療病院との情報連携**
がん情報提供コーナーから、小児がん連携ワーキング病院のHPへリンク

相談支援

- ◆ **患者支援窓口の設置と公表**
小児がん連携ワーキング病院は、全て、国指定もしくは府指定のがん拠点病院であるため、がん患者・家族のための相談支援窓口を設置
当該窓口で小児がんについても相談対応
- ◆ **セカンドオピニオン対応できる疾患の公表**



第2フェーズ～

小児がんに関する情報を必要とする府民へ
これらの取組の浸透と活用の促進

府内の医療機関へのこれらの取組の浸透

- ・がん拠点病院
- ・地域の医療機関 など

母子保健や児童福祉に携わる行政機関への
これらの取組の周知

- ・保健所、市町村保健センター
- ・児童相談所（子ども家庭センター） など